

**令和6年度  
神戸市消防職・団員研修計画**

**神戸市消防局**

# 目 次

<b>I 消防職・団員研修計画</b> .....	1
1 研修の基本方針 .....	2
2 研修の区分 .....	2
3 消防職・団員研修体系 .....	3
4 消防職・団員研修概要 .....	4
(1) 消防学校研修 .....	4～6
(2) 主管課研修 .....	7～13
(3) 委託研修 .....	14～26
<b>II 消防学校研修計画</b> .....	27
1 消防学校研修計画の基本方針 .....	29
2 消防学校研修の主眼 .....	29
3 消防学校研修概要 .....	29～31
4 消防学校研修一覧 .....	32
5 消防学校研修各科 .....	
(1) 初任研修 .....	33～34
(2) 現任研修 .....	
消防司令長昇任課程 .....	35
消防司令昇任課程 .....	36
消防司令補昇任課程 .....	37
消防士長昇任課程 .....	38
警防指揮課程（小隊長指揮コース） .....	39
査察実務課程 .....	40
火災調査課程（基礎コース） .....	41
救急課程 .....	42～43
救助課程 .....	44
はしご自動車課程 .....	45
司令補現任課程・特別研修 .....	46
(3) 消防団研修 .....	
消防団基礎教育 .....	47
消防団幹部教育 指揮幹部科 現場指揮課程 .....	48
消防団幹部教育 指揮幹部科 分団指揮課程 .....	49
(4) 消防学校研修カレンダー .....	50

# I 消防職・団員研修計画

## 1 研修の基本方針 【神戸市消防職員研修規程 第1章 第2条】

研修は、消防行政を適正かつ能率的に遂行できる職員を育成するため、次に掲げる事項を基本方針として行う。

- (1) 消防の責務を正しく認識し、勤務意欲をかん養する。
- (2) 職務上必要な知識及び技能を修習する。
- (3) 職務上必要な体力及び気力を練成する。

## 2 研修の区分

### (1) 消防学校研修

消防学校において、初任及び現任の職員に対して行う研修。

- ア 初任研修
- イ 現任研修
- ウ 消防団員研修

神戸市消防団規程第19条に規定する、消防団員の基礎教育及び幹部教育

### (2) 主管課研修

本部各課において、当該主管課事務について、現にその業務を担当している職員を中心に行う短期の研修。

- ア 総務部主管の研修
- イ 予防部主管の研修
- ウ 警防部主管の研修

### (3) 委託研修

職員を消防大学校、兵庫県消防学校、職員研修所、その他機関に委託して行う研修。

- ア 消防大学校
- イ 兵庫県消防学校
- ウ 職員研修所
- エ 資格取得
- オ その他

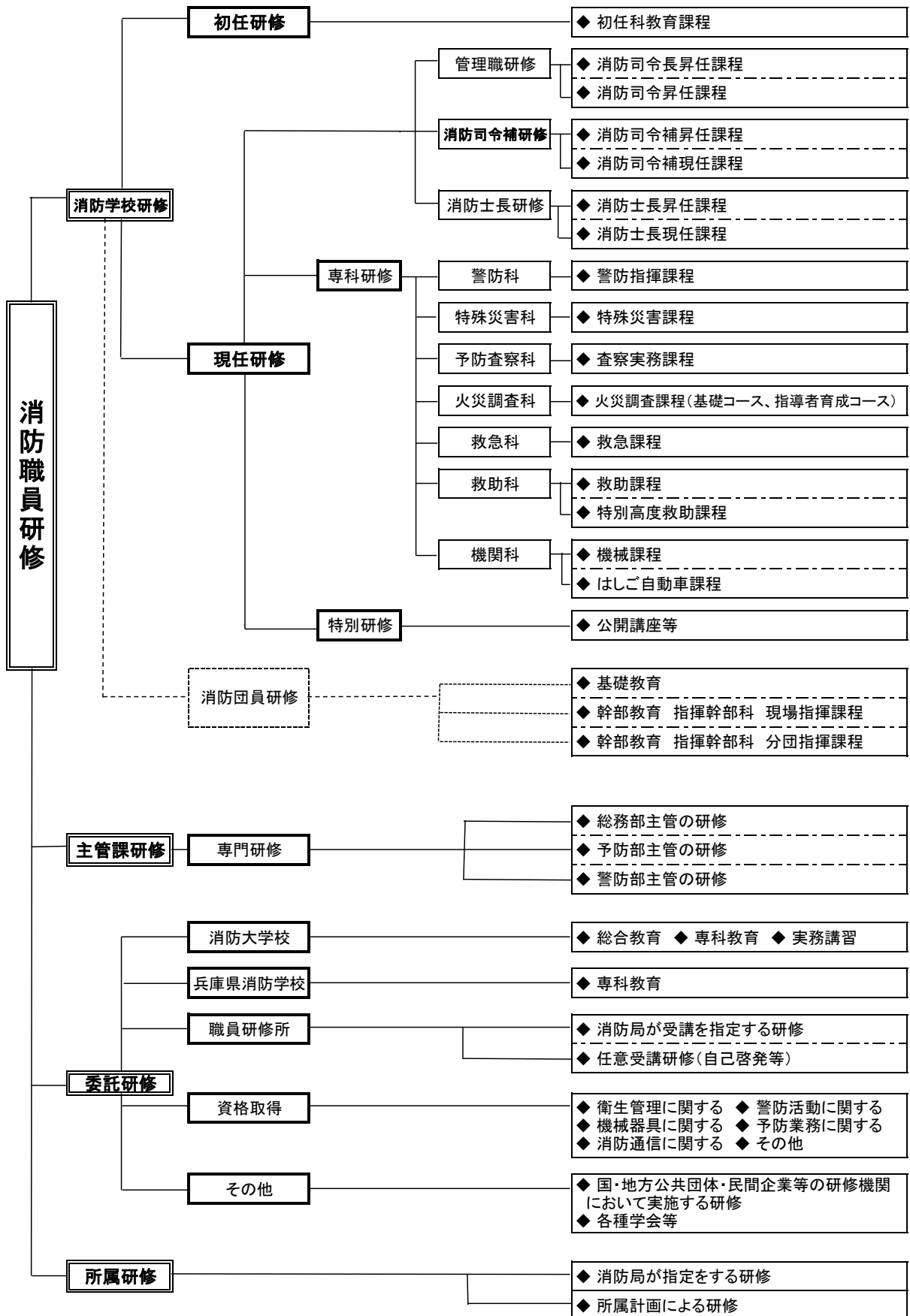
### (4) 所属研修

各所属で職務執行上必要な事項等について当該所属の職員に対して行う研修。

- ア 消防局が指定する研修
- イ 所属計画による研修

### 3 消防職・団員研修体系

[神戸市消防職員研修規程第3条及び第8条、並びに神戸市消防団規程第19条関連]



## 4 消防職・団員研修概要

### (1) 消防学校研修

#### 【初任研修】

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期	日数	場所
初任科教育課程	令和6年度 新規採用職員 第101期 初任科	未定	4.1(月)～9.30(月)	124日 (119日)	市民防災総合 センター
<b>研修目標</b> 1 市民の生命、身体、財産を守るという強い使命感、責任感をもった消防職員となること。 2 高い倫理観、規律を保持し、職務意欲が旺盛で市民の信頼を得られること。 3 一人ひとりが積極的に考え行動する『自主自立』の精神をもった消防職員になること。 4 基本的な安全管理について理解し、自らの安全を確保し、災害現場では隊長の下命に基づく基本的な活動ができること。 5 プロフェッショナルとしての知識、技術、体力、精神力、優しさを持っていること。					
<b>研修内容</b> 基礎教育、実務教育、実科訓練、実務研修、選択研修、行事等					

#### 【現任研修】

##### 管理職研修

消防司令長昇任課程	令和6年度 消防司令長昇任者	未定	5.8(水)～5.9(木)	2日	市民防災総合 センター
<b>研修目標</b> 1 消防司令長として組織を円滑に管理運営するために必要とされる、業務管理・人事管理・危機管理についての現況を把握する。 2 災害現場活動における統括指揮を理解する。					
<b>研修内容</b> 局部長講話、課長の実務・服務関係、部隊運用、意見交換、訓練礼式					
消防司令昇任課程	令和6年度 消防司令昇任 選考最終候補者	未定	R7.3.10(月)～3.14(金) 及び1当務または2日間	7日	市民防災総合 センター
<b>研修目標</b> 1 消防司令としての任務及び責任を認識するとともに、必要な知識を習得する。 2 職責に応じた問題解決能力を習得する。 3 部下の指導育成能力の向上。 4 災害現場における部隊運用指揮を行うための知識を習得する。					
<b>研修内容</b> 講話、総務関係、予防関係、警防関係、安全管理、訓練礼式、行事等					

##### 消防司令補研修

消防司令補昇任課程	令和6年度消防司令補 昇任選考最終合格者	未定	R7.1.27(月)～ 2.7(金)	10日	市民防災総合 センター
<b>研修目標</b> 消防司令補としての責務を自覚させ、判断能力、問題解決能力の向上を図る。					
<b>研修内容</b> 講話、危機管理、安全管理、消防企画、基礎法学、予防関係、警防関係、問題解決、火災防ぎょ戦術、訓練礼式、行事等					

##### 消防士長研修

消防士長昇任課程	令和2年度採用(97期)・高校卒 令和4年度採用(99期) ・短大・高専卒・大学卒	52名	7.1(月)～7.5(金)	5日	市民防災総合 センター
<b>研修目標</b> 消防士長としての任務、責任を認識し、業務の円滑かつ効率的遂行を図るとともに、消防士長として必要な知識、技術を習得する。					
<b>研修内容</b> ・講話、危機管理、安全管理、総務関係、基礎法学、予防関係、警防関係、問題解決、訓練礼式、行事等 ・査察実務研修					

## 専科研修

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期	日数	場所
<b>火災調査課程 (基礎コース)</b>	火災原因調査実務経験 10年未満の者	33名	7.22(月)～8.2(金)	10日	市民防災総合 センター
<p>研修目標 火災調査に必要な専門的、科学的知識及び技術を修得するとともに、火災調査書類作成能力の向上と予防行政への反映を図ることを目的とする。</p> <p>研修内容 火災調査、原因調査、損害調査、統計、鑑識、調査書類、総合実習、訓練礼式、行事等</p>					
<b>査察実務課程</b>	① 令和4・5年度士長昇任課程修了者で未受講の者 ② 令和6年度士長昇任課程修了者 ③ 消防司令補以下の階級で未受講の者	未定	10.7(月)～10.11(金)	5日	市民防災総合 センター
<p>研修目標 査察実務に関する知識の修得ならびに消防用設備等の知識、操作方法の習得を目的として実施する。</p> <p>研修内容 予防、査察、建築、危険物、立ち入り検査要領(現地実習含む)、効果測定、訓練礼式、行事等</p>					
<b>はしご自動車課程</b>	はしご車の小隊長、機械担当者及びそれらに予定されている者、もしくは所属長が受講することが適当と認めた者。 (はしご自動車配置所属)	未定	10.21(月)～10.25(金)	5日	市民防災総合 センター
<p>研修目標 消防用はしご自動車(以下「はしご車」という。)の構造及び性能を熟知させ、操作技術及び活動技術を習得することにより、はしご車の有効活用及び安全管理を推進する。</p> <p>研修内容 講話、安全管理、基礎理論、基本訓練、応用訓練、行事その他</p>					
<b>救助課程</b>	課程を受講できる体力を有する職員で所属長が適当と認めた者	33名	11.5(火)～11.22(金)	14日	市民防災総合 センター
<p>研修目標 救助隊員資格を取得するために必要な基本知識及び基本技術を習得するとともに救助隊員として必要な強靱な体力と不屈の精神を養い、災害現場において安全、確実、迅速に活動できる能力を習得する</p> <p>研修内容 講話、安全管理、救助基本訓練、救助応用訓練、災害救助、救急、救助器具取扱、総合訓練、救助体育、効果測定、行事等</p>					
<b>救急課程</b>	第101期初任科教育課程修了者	未定	12.1(日)～R7.1.24(金) 及びR7.2.12(水)～2.14(金)	37日	市民防災総合 センター
<p>研修目標 消防法施行令第44条第5項に基づく救急隊員としての資格を取得するとともに、神戸市の救急業務について必要な知識を習得する。</p> <p>研修内容 救急業務及び救急医学の基礎、応急処置の総論、病態別応急処置、特殊病態別応急処置、救急用資機材の取扱い、実地研修、効果測定、訓練礼式、行事等</p>					
<b>警防指揮課程 (小隊指揮コース)</b>	消防司令補以下の階級で、小隊長あるいは小隊長代行の者、若しくは所属長が適当と認めた者	33名	R7.2.17(月)～2.21(金)	5日	市民防災総合 センター
<p>研修目標 小隊指揮に必要な知識及び火災防ぎょについての各種基本戦術を習得するとともに災害現場での的確な状況把握及び活動方針について助言・具申ができる能力の習得を目的として実施する。</p> <p>研修内容 小隊長指揮総論、各種基本戦術、災害現場での安全管理、図上訓練、想定訓練、訓練礼式、行事等</p>					
<b>特別研修</b>					
<b>公開講座</b>	<b>希望者</b>	<b>未定</b>	<b>随時</b>	-	市民防災総合 センター
<p>研修目標 目的に応じて実施する。</p> <p>研修内容</p>					

## 【消防団員研修】

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期	日数	場所
基礎教育	各消防団の新規任命団員	100名	・7.7(日)東部・北消防団 ・7.21(日)西部・西消防団	1日	市民防災総合センター
<b>研修目標</b> 1 地域防災の担い手としての任務を自覚し消防組織の概要及び消防対策に必要な地域特性を理解させる。 2 災害現場では、自らの安全を確保し、下命に基づく現場活動を遂行することを習得する。					
<b>研修内容</b> 講話（倫理）、ポンプ操法、災害防ぎょ訓練、訓練礼式、行事等					
幹部教育指揮幹部科 現場指揮課程	部長、もしくは部長と同等の実務経験を有する班長の階級にある団員で教育未修了者	100名	・10.6(日)東部・北消防団 ・10.20(日)西部・西消防団	1日	市民防災総合センター
<b>研修目標</b> 1 災害時における現場指揮としての職責を自覚し、現場指揮及び安全管理の知識及び技術を有していること。 2 大規模災害時において、現場指揮者として、各種災害発生時の避難誘導及び情報収集・伝達に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識及び技術を有すること並びに自主防災組織等に対して防災指導を行えること。					
<b>研修内容</b> 講話（安全管理、災害防ぎょ、災害対策）、無線運用訓練、行事等					
幹部教育指揮幹部科 分団指揮課程	分団長もしくは副分団長の階級にある団員で教育未修了者及び昇任予定者	50名	12. 1（日）	1日	市民防災総合センター
<b>研修目標</b> 1 分団の指揮者としての職責を自覚し、消防団の運営管理及び活性化に資する広い知識を有していること。 2 各種災害発生時における分団の管理運営及び効果的な現場活動の在り方を深く理解していること。					
<b>研修内容</b> 講話（安全管理、災害防ぎょ、災害対策）、無線運用訓練、行事等					



(2) 主管課研修

【総務部】

職員課 厚生係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
安全衛生管理教育 リーダー課程	安全衛生管理者、衛生管理者 又は安全衛生推進者等	20名程度	調整中	本部員会議室
研修目標 最新の安全衛生管理についての現状を把握し職場のリーダーとして安全衛生教育を推進できる手法等を習得する				
研修内容 安全管理、衛生管理等、行事等				

【予防部】

予防課 予防係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
予防事務担当者等研修	・各消防署 査察係の予防事務調整者 ・消防係の予防事務担当者	30名程度	4月頃	消防局又は Web研修
研修目標 予防事務に関する知識の習得				
研修内容 予防事務マニュアルを使用した予防事務全般についての研修				

予防課 地域防災支援係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
地域防災事務研修	各消防署【消防防災課長・消防係長・消防防災課 係長（地域防災調整担当）・事務担当者】	50名程度	4月中	Web研修
研修目標 地域防災事務に必要な知識（助成金等）を習得する				
研修内容 地域防災事務に必要な講義（助成金等）				

予防課 調査係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
調査業務研修	消防司令で、調査指揮者を対象	50名程度	5月頃(3日間) 8月頃(1日)	作戦室 防災センター
研修目標 調査指揮者としての基本的な知識と調整方法の習得				
研修内容 ①調査指揮 ②情報公開・照会対応 ③火災調査報告書の注意点 ④模擬家屋での実習（防災センター）				

査察課 査察係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
査察新任者研修	新しく査察係員となった職員	各10名	通年 (年4回程度)	作戦室又は Web研修
研修目標 予防・査察・危険物業務についての基礎的な知識の習得等				
研修内容 予防業務全般、基礎的な査察や危険物業務、消防用設備等の概要等				

## 査 察 課 査 察 係

<b>査察事務担当者研修</b>	各消防署 消防係員	50名程度	通年	LMS研修
<b>研修目標</b> 消防法令及び立入検査に関する知識の向上、査察係との連携体制を強化する				
<b>研修内容</b> 小隊査察の推進、立入検査要領、通知書記載要領、OA入力及び四半期報告等				
<b>査察担当職員研修</b>	各署査察係員	20名程度	通年 (3回程度)	作戦室等又は Web研修
<b>研修目標</b> 査察、違反是正の事務処理能力を向上させる				
<b>研修内容</b> 法令解釈や査察・違反是正の講習、実習				

## 査 察 課 違 反 是 正 係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
<b>近畿支部消防法令違反是正事例発表会</b>	各署査察係員	20名程度	11月	神戸市
<b>研修目標</b> 違反是正事務処理能力を向上させる				
<b>研修内容</b> シンポジウム形式で、各府県の消防法令違反是正事例の発表及びその発表内容に対する質疑応答や消防庁から委託を受けた違反是正支援アドバイザーからの助言を通じ、違反是正に関する意識の統一や情報の共有化を図る。 有識者等の教育講演会を通じ、違反是正事務に関する最新の見識を深める				
<b>兵庫県下消防長会違反是正事例研究会(一般防火対象物)</b>	各署査察係員	10名程度	2月	明石市
<b>研修目標</b> 違反是正事務処理能力を向上させる				
<b>研修内容</b> 少人数のグループ単位で違反是正に関する課題事例研究を行い、その研究結果を発表のち質疑応答の実施及び消防庁から派遣される違反是正アドバイザーによる助言をもらう				
<b>違反是正の推進にかかる実務研修</b>	各署査察係員	10名程度	12月頃	作戦室
<b>研修目標</b> 違反是正事務処理能力を向上させる				
<b>研修内容</b> 消防庁からの依頼に基づき、他都市職員の受入研修の実施に合わせ、当該受入研修内で違反是正事例研究会を開催する。少人数のグループ単位で違反是正に関する課題事例研究を行い、その研究結果を発表の後、他都市の研修生とともに検討を行う				

## 査 察 課 設 備 指 導 係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
<b>病院・ホテル等大規模対象物の消防用設備等実地研修</b>	査察係員等	10名未満	随時	新築防火対象物(中間検査、使用開始検査現場)
<b>研修目標</b> 消防用設備等の技術基準及び検査要領等を習得する				
<b>研修内容</b> 設備エキスパート等が講師となり部分完成検査、使用開始検査において消防用設備等の技術基準及び検査要領等				
<b>システム指導員研修</b>	各署総務査察課、消防防災課指揮隊員等	20名程度	年2回	市民防災総合センター(防災設備技能講習実習室)
<b>研修目標</b> 防火対象物に設置されている総合操作盤の機能を理解することにより、自衛消防隊の指導、火災時の防災センターでの活動要領を習得するとともに、消防用設備等の知識を深める				
<b>研修内容</b> 総合操作盤の操作要領や消防用設備、建築防災設備等の見学、取扱要領等				

## 危険物保安課 危険物係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
安全講演会(危険物)	各署査察係員	20名程度	2月頃	中央区文化センター等
<b>研修目標</b> 危険物行政に関する最新の知見を習得する				
<b>研修内容</b> 有識者による、最新の危険物行政に関する動向や事故防止対策等に関する講演を聴講する				
危険物安全大会記念講演会(危険物)	各署査察係員	20名程度	6月頃	中央区文化センター等
<b>研修目標</b> 危険物行政に関する最新の知見を習得する				
<b>研修内容</b> 有識者による、最新の危険物行政に関する動向や事故防止対策等に関する講演を聴講する				
兵庫県下消防長会違反是正事例研究会(危険物)	各署査察係員	10名程度	(年1回)	本部員会議室等
<b>研修目標</b> 違反是正事務処理能力を向上させる。				
<b>研修内容</b> 少人数のグループ単位で違反是正に関する課題事例研究を行い、その研究結果を発表のち質疑応答の実施及び消防庁から派遣される違反是正アドバイザーによる助言をもらう				
危険物事務担当者研修	・各署査察係 ・危険物事務担当者	10名程度	(通年)	作戦室 等
<b>研修目標</b> 経験の浅い各署危険物事務担当者が、担当としての役割を十分にこなせるようになること				
<b>研修内容</b> 座学研修だけでなく、実際に危険物施設に赴き査察を実施することなどにより、経験の浅い各署危険物事務担当者の届出等事務処理、査察及び違反処理等の能力を向上させる				

【警 防 部】

**警 防 課 警 防 係**

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
実火災体験型訓練	消防隊で健康状態が良好である者から所属長が認めた者	各22名程度	1月～3月の間で3回	兵庫県広域防災センター

研修目標  
火災現場と同様の熱・煙を体験するとともに火災性状に関する知識の習得、防火着装・屋内進入時の姿勢の重要性などを体感することで、火災件数が減少傾向の中での経験不足を補い安全確実な現場活動に活かすことを目的とする

研修内容  
座学・注水訓練・・・実火災体験型訓練施設の概要・火災性状の理解、注水技術の習得  
実火災体験型訓練・・・火災性状の理解、防火着装等の重要性の確認

訓練事務担当者研修	各署訓練事務担当者	約15名	4月中旬頃	消防作戦室、WEB会議
-----------	-----------	------	-------	-------------

研修目標  
警防訓練業務の理解を深める

研修内容  
警防訓練に関すること

水防事務担当者研修	各署水防事務担当者及び消防係長	約30名	5月頃	消防作戦室、WEB会議
-----------	-----------------	------	-----	-------------

研修目標  
風水害時における対応及び水防業務の理解を深める

研修内容  
風水害時における対応及び水防業務に関すること

**警 防 課 計 画 係**

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
地水利事務担当者研修	各署地水利事務担当者	約30名	5月頃	消防作戦室WEB会議

研修目標  
地水利業務への理解を深める

研修内容  
地水利事務の年間予定の確認、地水利調査を行う上での留意事項等の研修

統計事務担当者研修	各署統計事務担当者	約20名	7月頃	消防作戦室WEB会議
-----------	-----------	------	-----	------------

研修目標  
統計業務の意義について、入力方法の習熟、入力上の課題等の解消を図る

研修内容  
統計業務の実務及び効果について

**警 防 課 災 害 対 策 係**

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
緊急消防援助隊 (指揮支援隊) 研修会	神戸市指揮支援隊登録小隊	約20名	6～7月頃	中央消防署又はWEB会議

研修目標  
緊急消防援助隊指揮支援隊の派遣と運用が円滑に行われるように研修会を実施する

研修内容  
緊急援助隊基本計画・運用要綱等に基づく神戸市隊応援等実施計画の説明および情報共有など

緊急消防援助隊 (兵庫県大隊) 研修会	緊急消防援助隊兵庫県大隊登録小隊 (神戸市消防局職員)	約80名	8～9月頃	消防局作戦室又は市民防災総合センターWEB会議
------------------------	--------------------------------	------	-------	-------------------------

研修目標  
緊急消防援助隊兵庫県大隊の派遣と運用が円滑に行われるように研修会を実施する

研修内容  
緊急援助隊基本計画・運用要綱等に基づく神戸市隊応援等実施計画の説明および情報共有など

## 警 防 課 災 害 対 策 係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
緊急消防援助隊 (エネルギー・産業基盤災害即応部隊登録) 研修会	兵庫県エネルギー・産業基盤災害即応部隊登録小隊	約20名	7～8月頃	関係署所又はWEB会議
研修目標 緊急消防援助隊兵庫県エネルギー・産業基盤災害即応部隊の派遣と運用が円滑に行われるように研修会を実施する				
研修内容 緊急援助隊基本計画・運用要綱等に基づく神戸市隊応援等実施計画の説明および情報共有など				
緊急消防援助隊 (NBC災害即応部隊) 研修会	神戸市消防局NBC災害即応部隊登録小隊	約20名	5月頃	市民防災総合センター、WEB会議
研修目標 神戸市消防局NBC災害即応部隊の派遣と運用が円滑に行われるように研修及び訓練を実施する				
研修内容 緊急援助隊基本計画・運用要綱等に基づく神戸市隊応援等実施計画の説明および情報共有など				
水防事務担当者研修	各署水防事務担当者及び消防係長	約30名	5月頃	消防作戦室、WEB会議
研修目標 風水害時における対応及び水防業務の理解を深める				
研修内容 風水害時における対応及び水防業務に関すること				

## 警 防 課 救 助 係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
新規潜水隊員養成研修	・潜水業務を行う救助隊員で研修未受講者 ・北救助隊から1名	約8名	9月頃	市民防災総合センター 水難訓練用プール
研修目標 潜水救助の基礎技術を習得させることにより「安全・確実・迅速」な現場活動を実施する				
研修内容 潜水業務に関する基礎知識・基本技術・各種検索法及び救助方法				

## 警 防 課 特 殊 災 害 隊

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
神戸大学研究基盤センター による放射線講習会	・特殊災害隊員 ・特別高度救助隊員	30名	8月頃 (1日)	・神戸大学 ・中央消防署等
研修目標 特殊災害隊員及び特別高度救助隊員の放射線全般に関する教養及び知識の向上を図る				
研修内容 放射線の基礎知識、各種測定器の取扱い及び特徴等				
神戸薬科大学 夏期放射線講習会	消防職員	12名	7月頃 (1日)	神戸薬科大学
研修目標 放射線災害現場で活動する職員の教養および安全管理等の知識を向上を図る				
研修内容 神戸薬科大学アイソトープ実験施設内において、放射線源を利用した放射線の測定や、遮蔽物による影響等を体験および学習				

## 警 防 課 特 殊 災 害 隊

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
神戸学院大学薬学部 特殊災害対応研修	特殊災害隊員	約40名	12月頃 (1日)	神戸学院大学
研修目標 災害事例研究等を通じ、災害現場での原因物質に対する判断や適切な処置などの対応について習得する				
研修内容 災害事案に関係する化学物質の性状とその危険性の学習				
都市ガス災害対応研修	特殊災害隊員等	30名程度	11月～12月	大阪ガスネットワーク 構事業基盤部技能開発 センター
研修目標 都市ガスの知識及びガス漏洩時における対応能力の向上と大阪ガスネットワーク(株)兵庫緊急緊急保安チームとの連携を図る				
研修内容 都市ガスの性状と緊急時の対処法(座学)、緊急対応訓練等(実地訓練)				
日本メジフィジックスとの 放射性物質災害対応研修	特殊災害隊員等	40名程度	12月頃	日本メジフィジックス (株) 兵庫工場(三田)
研修目標 主に特殊災害隊員に対して、RI災害への対応力強化を図る				
研修内容 放射線(放射線医薬品を含む)に関する基礎知識、放射線管理区域に立ち入った放射線医薬品製造にかかる見学、RI災害合同訓練等				
消 防 団 支 援 課				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
消防団事務担当者研修	各署消防団事務担当者	約20名	5月初旬頃	消防作戦室
研修目標 消防団業務の理解を深める				
研修内容 消防団事務に関すること				
司 令 課				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
司令課実務研修	令和4年度消防司令昇任選考合格者	合格者数	6月頃	司令課
研修目標 司令課業務研修を通じて、本部司令課員と現場消防隊及び救急隊との相互理解を深め、警防・救急業務の円滑化を図る				
研修内容 司令課業務全般				
小隊長管制業務研修	小隊長、小隊長代行 (消防司令補の階級を有する者)	各署 4名程度	2月頃	司令課
研修目標 管制業務研修を通じて効率的な消防部隊の運用と無線運用を実践するとともに119番通報の内容を知ること、市民の意識やニーズを把握する				
研修内容 管制業務(管制システム、無線運用、部隊運用等)				
警防計画事務担当者	各署警防計画事務担当者	各署 1名程度	6月頃	司令課
研修目標 警防計画に関する理解を深めること				
研修内容 消防OA防御計画書入力要領の説明				
119番通報各署受信研修	各署全職員	全職員	10～1月頃	各消防署
研修目標 119番通報の各消防署受信時運用マニュアルの内容を理解すること				
研修内容 119番通報および各消防署受信の概要説明				

## 救 急 課

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所 (予定)
救急事務担当者研修	各署救急事務担当者	60名	4月中	消防局作戦室・ 水上署 (web)
<b>研修目標</b> 事務担当者としての知識の向上を図る				
<b>研修内容</b> 講義・意見交換等				
救急研修アドバイザー 研修	各署救急研修アドバイザー	30名程度	未定	水上署 (web)
<b>研修目標</b> 所属における研修・訓練の主導者として、必要な知識・技術の習得を目的とする				
<b>研修内容</b> 講義・意見交換等				
救急技術研修会	救急係員 (第2救急隊)	約110名	10月～11月	市民防災総合 センター
<b>研修目標</b> 救急活動を取り巻く環境の変化や発展する医学に対し、救急隊として求められている活動技術を種々の側面から検証し確認することによって、市民の安全安心を確保する最前線部隊としての救急活動技術を向上させることを目的とする				
<b>研修内容</b> 1 効果確認 救急活動プロトコールの理解と実践、並びにMC体制下における適切な報告と記録といった、救急活動全般についての効果確認。 2 救急活動の検証 訓練実施後、評価者との検証の場において客観的評価を受け、更なる知識と技術の向上を図る。また、医師、本部及び救急隊間での顔の見える関係を構築し、今後の救急業務の円滑化を図る				
救急症例研修	全救急隊員(第1救急隊対象に実施した後、 第2・第3救急隊はLMSで研修受講)	約330名	未定	未定
<b>研修目標</b> 研修実施医療機関に搬送した事例の中から、医学的、学術的に意義の高い症例を発表・聴講し、医師からの講評を受けることによって、症例の貴重な経験を共有し、救急隊員の知識、技術を向上させることを目的とする。教育講演では、症例に対する基礎的知識、各研修実施病院の特色や取り組み等の講演を実施することにより、救急隊員の知識および共通認識を向上させる				
<b>研修内容</b> 研修実施医療機関に搬送した事例のうち、医師と救急課で協議のうえ選出した症例について、搬送救急隊より症例発表(プレゼンテーション)を行い、その後に医師よりフィードバックを受ける				



### (3) 委託研修

#### 【消防大学校】 (予定)

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
危険物科 (専科教育)	<p>【 上限年齢： 45歳 】</p> <p>消防士長以上の階級にあり、かつ、危険物保安業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>1 学校教育法による大学若しくは高等専門学校において化学に関する学科もしくは課程を修めて卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者</p> <p>2 消防学校において危険物専科教育を受講した者</p> <p>3 危険物保安業務の実務経験が3年以上の者</p>	1名	R6.8.29 ~ R6.10.1	リモート授業 及び 消防大学校
<p>研修目的 危険物保安に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる。</p>				
<p>研修内容 危険物保安に関する行政動向・技術基準・性能規定、企業防災、危険物物理化学・材料工学の理論、実務研究・演習</p>				
現任教官科 (専科教育)	<p>消防学校において教育訓練に従事している者（令和7年3月1日以降まで在任が予定されているものに限る）で、業務運営、初級幹部科、中級幹部科、上級幹部科、予防業務又は警防業務に関する教科等を担当している者</p>	1名	R7.2.28 ~ R7.3.13	リモート授業 及び 消防大学校
<p>研修目的 現任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、業務運営の企画、幹部教育、予防業務及び警防業務を包括的に指導できる能力を向上させる。</p>				
<p>研修内容 行政動向全般・実務研究、安全管理・訓練の企画・運営演習</p>				
NBCコース (実務講習)	<p>防護服その他のNBC災害対応資機材を装備する隊の隊長若しくは隊員である者又はそれらの予定者</p>	1名	R7.1.9 ~ R7.1.30	リモート授業 及び 消防大学校
<p>研修目標 緊急消防援助隊のNBC災害要員等に対し、NBC災害対応業務に必要な知識及び能力を修得させる。</p>				
<p>研修内容 NBC災害の初動対応、活動技術、活動訓練、図上訓練、安全管理、NBC災害対応部隊活動の実務研究</p>				
航空隊長コース (実務講習)	<p>次のいずれかに該当する者</p> <p>1 消防防災航空隊の隊長、副隊長又はパイロットである者</p> <p>2 消防司令補以上の階級にある者又は指導・監督的な立場にある者</p>	1名	R6.12.5 ~ R6.12.18	リモート授業 及び 消防大学校
<p>研修目標 消防・防災航空隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。</p>				
<p>研修内容 航空隊の運用・活動統制、広域応援、航空隊と地上部隊の連携、航空隊員の育成</p>				



## 【兵庫県消防学校】

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
危険物科	危険物規制事務担当者	5名	10.7～ 10.11	兵庫県消防学校
<b>研修目標</b> ・危険物行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。 ・危険物化学、指定可燃物及び液化石油ガス等に関して、災害対策上必要な化学的特性等に係る専門的知識を豊富に有していること。 ・危険物施設に対して許認可等の規制を的確に行い、違反を適切に処理できること。				
<b>研修内容</b> 危険物管理、安全管理、基礎化学、危険物化学、危険物実験、各危険物の規制及び許認可事務等、違反処理、実務研究課題討議（許認可等、違反処理）、学科考査。				
通信指令科	通信指令業務担当者	3名	12.9～ 12.13	兵庫県消防学校
<b>研修目標</b> ・通信指令業務における現状と課題、法律上の諸問題を理解するとともに、円滑な緊急通報・受信・指令管制に関する知識・技術の共有と対応技能の向上を図る。				
<b>研修内容</b> ・指令業務の現状と課題、指令業務と法令の関係、ストレス対策、接遇、通信指令員教育、口頭指導とEMIS。 ・事例研究 ・模擬通報シミュレーション訓練（緊急通報受信、災害対応、口頭指導）				

## 【職員研修所】

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
<b>3級昇格時研修 (必須研修)</b>	令和5年4月2日～令和6年4月1日に消防職等給料表3級に昇格した職員	未定	8月～10月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 組織の中心的役割を担う認識を持つとともに、市政知識や法律知識、必要なスキルを習得し、職務遂行能力の向上を図る</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：神戸2025ビジョン、法律講座、キャリア形成研修、SDGsに基づく政策形成研修</p>				
<b>4級昇格時研修 (必須研修)</b>	令和5年4月2日～令和6年4月1日に消防職等給料表4級に昇格した職員	未定	8月～9月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 高度かつ専門的な知識を活用し、担当者として求められる水準以上の職務遂行能力および実務面における後輩への指導・助言を期待できる能力の向上を図る。さらに円滑な組織運営に貢献できるよう、責任あるベテラン職員として係長等上司を補佐する能力を養う</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：【基本研修】健康管理、障害者への合理的配慮 【専門研修】4級職員の役割研修</p>				
<b>係長昇任前研修 (一部必須研修)</b>	令和6年度消防司令昇任選考合格者 (変更の可能性あり)	未定	令和7年3月 中旬 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 係長として求められる基本的な心構えやマネジメント・コミュニケーションスキル、法律知識等を昇任前に学ぶことにより、係長への昇任に向けた自覚や自信を高め、係長としての業務遂行能力の向上を図る</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：職場コミュニケーション、法律講座</p>				
<b>係長昇任時研修 (必須研修)</b>	令和5年4月20日以降に消防司令に昇任した職員	未定	7月～9月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 係長に求められる役割・心構え等を認識するとともに、業務遂行を行うためのリーダーシップ・マネジメント力及び部下育成能力の習得を図る。</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：危機管理広報、人材育成、健康管理、働き方改革、広聴、コンプライアンス、市議会 【テーマ別研修】マネジメント基礎、SDGs研修、人事評価研修</p>				
<b>係長級選択型研修 (必須研修)</b>	消防司令昇任2年目以降の職員	未定	5月～2月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 係長として求められるスキルについて、個別のニーズに応じたテーマを選択してスキルアップをすることにより、業務遂行能力の向上を図る</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：職員研修所主催の集合研修、LMSに掲載の動画研修、兵庫県・関西広域連合主催等の研修、職員研修所から案内する研修から1つ選択し受講</p>				

## 【職員研修所】

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
<b>係長昇任5年次研修 (必須研修)</b>	消防司令昇任5年目の職員 (見直しの可能性あり)	未定	12月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 市職員として阪神・淡路大震災の経験を継承し、災害への備えについて学び・考えるとともに、職場の中で中堅係長として求められる役割について再認識する。</p> <p>研修内容 令和5年度の実施内容：震災経験の継承</p>				
<b>課長昇任時研修 (必須研修)</b>	令和5年4月2日から令和6年4月1日に 消防司令長に昇任した職員	未定	4月～9月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 課長に求められる役割・心構え等を認識するとともに、市政運営の中核を担うためのリーダーシップ、組織マネジメント力及び部下育成能力の習得を図る</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：基本研修 (SDGs、コンプライアンス、予防法務、人権行政の現状と課題、障害者に対する理解と配慮、健康管理、会計事務、契約事務、広報業務、公文書管理、DX)、組織マネジメント力向上研修、部下育成研修 (動画・集合)</p>				
<b>課長昇任2年次研修 (危機管理・防災研修) &lt;必須研修&gt;</b>	課長昇任2年目の職員	未定	12月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 平時はもとより、危機対応時においても組織の中核を担う課長に求められる役割・心構え等を認識し、危機管理・防災に関する知識を深めるとともに、危機対応時における意思決定・指揮やリーダーに求められる資質、危機対応能力の向上を図る</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：危機管理・防災の基礎知識、管理職の立場から考える災害対応、平成30年7月豪雨・平成26年広島土砂災害、熊本地震</p>				
<b>課長昇任3年次研修 (DEI研修) &lt;必須研修&gt;</b>	課長昇任3年目の職員	未定	8月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 職員一人一人が自分自身が望むキャリアを形成し、いきいきと働ける環境を整備するため、部下育成やキャリア形成支援に重要なDEI (多様性Diversity 公平性Equity 包括性Inclusion) への理解を深める</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：DEI (多様性Diversity 公平性Equity 包括性Inclusion) の視点を踏まえた部下育成、マネジメント等</p>				
<b>部長昇任時研修 (必須研修)</b>	令和5年4月2日から令和6年4月1日に 部長級に昇任した職員	未定	7月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 組織マネジメントの要諦である人材育成を中心に、組織運営やリスク管理、戦略的思考等の部長級職員に求められるマネジメント能力の強化を図る</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：マネジメント能力向上</p>				
<b>再任用採用予定者研修 (必須研修)</b>	令和7年4月から再任用職員として 採用を希望する職員	未定	10月～12月 (詳細未定)	職員研修所
<p>研修目標 再任用を希望する職員が、これまでの職務経験を振り返り、ノウハウの提供や後継者の育成に活かすとともに、業務上必要な新たな課題に積極的にチャレンジできるよう、主体的な取り組みのきっかけを作る</p> <p>研修内容 詳細は未定 令和5年度の実施内容：地域貢献、期待される役割、キャリアの棚卸し、ベテラン職員の意識と行動、メンバーとの関係構築</p>				

## 【資格取得】

職員課 厚生係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
第一種衛生管理者 資格取得研修	新たに衛生管理者に選任される職員等	4名	5月～6月	新梅田 研修センター (大阪市)
研修目標 第一種衛生管理者資格取得				
研修内容 第一種衛生管理者資格取得にかかる関係法令				
施設課 装備係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
大型・中型自動車第1種 運転免許取得講習	大型・中型消防車の機械担当者として 養成する職員	未定	7月～12月頃	自動車教習所
研修目標 大型自動車第1種運転免許取得、 中型自動車第1種運転免許取得				
研修内容 大型・中型自動車の技能と学科の講習を受講し、敷地内での運転試験（技能修了検定）に合格して仮免許証を取得後、敷地外で 技能講習を受講し、技能卒業試験に合格して運転免許を取得する				
安全運転管理者講習	選任要件を満たす署所の副署長等	14名	公安委員会が 指定する日	講習会場
研修目標 道路交通法第74条の3で定められている安全運転管理者の選任に必要な講習を受講し、効果的な安全運転管理が遂行できる能力 を習得する				
研修内容 自動車及び道路交通に関する知識、その他自動車の安全な運転に必要な知識、自動車の運転者に対する安全教育に関する講習				
安全運転技能者養成研修	現任の機械担当者等	12名	11月頃	調整中
研修目標 自動車の限界走行を経験し、運転技術や危険回避技術の習得、事故防止の予知・予測能力の向上等、緊急自動車のドライバーと して必要な知識、技能を習得し、機械技能認定制度における機械技能養成指導者の育成を図る				
研修内容 自動車の運転に関する基本から応用までの理論説明と実践訓練				
床上操作式クレーン運転 技能講習 及び玉掛け技能講習	床上操作式クレーンを操作する職員	数名	講習実施日のう ち、受講者の希 望する日	調整中
研修目標 床上で運転し、運転者が操作しながら荷と共に移動する方式で、荷重5t以上、5t未満のクレーン操作と玉掛け作業に必要な資 格取得				
研修内容 学科（クレーン構造、力学、電気、関係法規等）、実技講習、学科試験、実技検定等				

## 施 設 課 装 備 係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
高圧ガス消費者 保安講習	機械管理事務担当者 若しくは高圧ガス作業従事者等	13名	講習会場ごとの実施 日時のうち、受講者 の希望する日	講習会場
研修目標 高圧ガスによる事故災害の防止及び安全管理に必要な知識の習得				
研修内容 高圧ガス関係法令及び高圧ガスの保安・火災予防に関する講習				
危険物取扱者保安講習	危険物保安監督者及び危険物取扱作業従事者	約47名	講習会場ごとの実施 日時のうち、受講者 の希望する日	講習会場
研修目標 危険物施設における貯蔵及び取扱いについて必要な知識の習得				
研修内容 消防法第13条の23に定められる危険物の取扱作業の保安に関する講習				
危険物取扱者（乙種4類） 免状取得	危険物取扱作業従事者	約18名	試験会場ごとの実施 日時のうち、受験者 の希望する日	試験会場
研修目標 屋内貯蔵所及び自家給油取扱所を保有する署所への危険物取扱者の配置				
研修内容 危険物取扱者（乙種4類）の免状取得試験				

## 査 察 課

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
予防技術検定	予防査察業務を担当している職員等	20名	12月初旬	試験会場
研修目標 高度化、多様化する予防業務を円滑に遂行するため、予防要員の職務能力の質的水準を確保し、より専門的で高度な知識及び能力を要する予防要員を養成することを目的とする				
研修内容 消防力の整備指針の規定に基づく予防技術資格者認定のために必要な予防技術検定試験の受験（3科目 防火査察科目・消防用設備等科目・危険物科目）				

## 警 防 課 救 助 係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
2級小型船舶操縦士	小型船舶を保有する救助隊の隊員	小型船舶の操縦に 必要な人員	10月前後	神戸ハーバーマリーナ (講習料により変更あり)
研修目標 救助隊が保有する船舶の操縦に必要な免許を取得する				
研修内容 小型船舶操縦士免許取得のための座学及び実技				
潜水士	潜水業務を行う救助隊に所属する救助隊員で潜水士免許未取得者	同左全員	6月前後	近畿安全衛生技術センター (加古川市)
研修目標 労働安全衛生法に定められた資格を取得する				
研修内容 潜水士免許取得（筆記試験）				

## 警 防 課 救 助 係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	消防救助隊の隊員	法令上必要な最低人員	2月前後	港湾技能研修センター
研修目標 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者として必要な知識・技術を修得する				
研修内容 法令に必要な学科及び実技				
ガス溶接技能講習	ガス溶断器を保有する消防救助隊の隊員	法令上必要な最低人員	1月前後	ポリテクセンター加古川
研修目標 ガス溶断器の使用に必要な知識・技術を修得する				
研修内容 法令に必要な学科及び実技				
小型移動式クレーン技能講習	クレーンが搭載されている救助車を運用する救助隊の隊員	法令上必要な最低人員	5月前後	近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター
研修目標 クレーン操作に必要な講習を受講する				
研修内容 クレーン操作に必要な学科及び実技				
玉掛技能講習	クレーンが搭載されている救助車を運用する救助隊の隊員	法令上必要な最低人員	5月前後	近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター
研修目標 クレーン操作に伴う玉掛に必要な講習を受講する				
研修内容 クレーン操作に伴う玉掛に必要な学科及び実技				
車両系建設機械運転技能講習 (整地・運搬・積込用及び掘削用・解体)	重機を運用する救助隊員	法令上必要な最低人員	7月前後	近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター
研修目標 重機操作に必要な講習を受講する				
研修内容 1 小型車両系建設機械に関する基礎知識及び関係法令の講義 2 整地・運搬・積込・掘削及び解体の実技				

## 警 防 課 特 殊 災 害 隊

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
危険物取扱者免状取得	各方面特殊災害隊、特別高度救助・特殊災害隊の職員で希望する者	・甲種2名 ・乙種20名 (各署4名程度)	試験会場ごとの実施日時のうち、受験者の希望する日	試験会場
研修目標 特殊災害対応力の強化を図るため、危険物に対する知識・資格を修得させ、特殊災害に対応する職員の能力向上を図る。				
研修内容 危険物取扱者の免状取得試験				
毒物劇物取扱者免状取得	本部特殊災害隊、各方面特殊災害隊、特別高度救助隊の職員	20名 (各署3~5名程度)	隔年実施。 R6年度は予定なし。	試験会場
研修目標 特殊災害対応力の強化及び職員の資質向上を図るため				
研修内容 毒物劇物取扱者の免状取得試験				

**警 防 課 災 害 対 策 係**

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
<b>第2種放射線取扱主任者免状取得</b>	本部特殊災害隊の職員	1名	試験会場ごとの実施日時のうち、受験者の希望する日	試験会場
研修目標 放射線に対する上級の知識を習熟することで、即応的な消防対応力の強化を図るため 研修内容 第2種放射線取扱主任者の免状取得試験				
<b>第2種放射線取扱主任者試験受験準備講習会</b>	本部特殊災害隊の職員	1名	未定	一般財団法人電子科学研究所(大阪府)
研修目標 放射線に対する上級の知識を習熟することで、即応的な消防対応力の強化を図るため 研修内容 第2種放射線取扱主任者試験のための基礎講座及び模擬試験				
<b>小型移動式クレーン技能講習</b>	クレーンが搭載されている大容量送水ポンプ車を運用する職員	部隊運用に必要な人員	講習実施日のうち、受講者の希望する日	近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター
研修目標 クレーン操作に必要な講習を受講する 研修内容 クレーン操作に必要な学科及び実技				
<b>玉掛技能講習</b>	クレーンが搭載されている大容量送水ポンプ車を運用する職員	部隊運用に必要な人員	講習実施日のうち、受講者の希望する日	近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター
研修目標 クレーン操作に伴う玉掛に必要な講習を受講する 研修内容 クレーン操作に伴う玉掛に必要な学科及び実技				

**救 急 課**

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
<b>指導救命士養成研修</b>	所属の救急救命士及び救急隊員を指導するのに必要となる高度な医学的知識と技術をもつ救急救命士で、神戸市消防長が推薦する者	1名	6月頃	兵庫県消防学校 救急救命士養成所
研修目標 メディカルコントロールを担う医師との連携のもと、救急救命士及び救急隊員等が行う救急活動全般を教育指導するために必要な知識・技能を習得する 研修内容 指導救命士として必要な知識、技術、指導能力向上の座学及び実技				
<b>救急救命士養成課程</b>	救急救命士養成課程受講候補生選考試験合格者	10名	9月～3月	兵庫県消防学校 救急救命士養成所
研修目標 救急救命士資格取得及び救急救命士として必要な知識・技能を習得する 研修内容 法律で定められた救急救命士として必要な座学及び臨地実習				

**航 空 機 動 隊**

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
<b>航空特殊無線技士</b>	航空救助隊員	未定 (異動時未取得者)	6月	公益財団法人日本無線協会近畿支部(大阪府)
研修目標 ヘリコプターとの無線交信要領の習得 研修内容 航空特殊無線に関する基礎知識の習得				
<b>BK117型 限定変更訓練</b>	整備士(令和6年度新規採用予定整備士)	1名	未定	未定
研修目標 BK117型 限定免許取得のため 研修内容 BK117型 限定免許を取得するための整備訓練				
<b>BK117C-2型エンジン基礎訓練</b>	整備士(令和6年度新規採用予定整備士)	1名	未定	未定
研修目標 BK117型 限定免許取得するため 研修内容 BK117型 限定免許を取得するための整備訓練				



## 【その他】

職員課 職員係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
海上防災訓練 (標準消防コース)	船舶火災、海上災害等に従事する職員	1名	未定	海上災害防止センター (神奈川県横浜賀賀市)
研修目標 基本的な油、液化ガス等の消防活動、器具の取り扱い等を実習を通して体得する訓練				
研修内容 油火災、液化ガス、液体化学薬品の消防実習、検知器具・保護具の取扱・油防除実習、船内捜索訓練等				
職員課 厚生係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
消防職員の惨事ストレスの 理解と予防	係長級以上の職員 (未受講者)	11名	6月	兵庫県こころの ケアセンター
研修目標 惨事ストレス事案等が発生した場合の対応要領等を理解する				
研修内容 消防職員の惨事ストレスとその予防策や手法				
消防職員の惨事ストレス の理解と予防 (ステップアップ版)	上記研修を受講済みの職員	8名	11月	兵庫県こころの ケアセンター
研修目標 大規模災害等極めて悲惨な現場において活動したことによる、惨事ストレス事案等が発生した場合の対応を理解する				
研修内容 大規模災害等における惨事ストレスとその予防策や手法				
危険物保安課 保安係				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
経済産業省研修 (火薬類取締法)	保安係新任職員	1名程度	毎月6月頃 (5日間)	経済産業研修所 (東京都東村山市)
研修目標 担当職員の火薬取締法及び火薬類に関する知識の向上を図るとともに、各地域担当者との人的ネットワークを形成し、火薬取締法行政の的確な遂行に資することを目的とする				
研修内容 火薬類取締法の概要及び規制改革の動向、各関係団体の保安確保に向けた取り組み、警察と火薬取締法、保安教育他				
経済産業省研修 (高圧ガス保安法)	保安係新任職員	1名程度	毎月7月頃 (5日間)	経済産業研修所 (東京都東村山市)
研修目標 地方公共団体及び産業保安監督部等の高圧ガス保安担当職員について、高圧ガス保安法の基礎的知識及び技能の向上を目的とする。				
研修内容 高圧ガス保安法のが概要、立入検査、保安行政の運用、容器製造・検査、リスクアセスメント、事故事例(グループ討議等) 他				
経済産業省研修 (液化石油ガスの保安の確保及び 取引の適正化に関する法律)	保安係新任職員	1名程度	毎月11月頃 (5日間)	経済産業研修所 (東京都東村山市)
研修目標 法執行を的確に行うため、法執行業務に必要な液化石油ガスの基礎知識から保安に係る規制等の知識向上を図ることを目的とする				
研修内容 液化石油ガスの基礎、許認可手続及び本省における立入検査事例、液化石油ガス機器等に係る規制概要、近年の災害とLP業界の対応、事故解析と対策他				



## 警 防 課 災 害 対 策 係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
<b>海上防災訓練 (コンビナート火災コース)</b>	エネルギー・産業基盤災害即応部隊指揮隊 係長級職員	1名	未定 (5日間)	海上災害防止センター (神奈川県横須賀市)
研修目標 油貯蔵施設等における火災等の緊急事態に迅速かつ適切に対処するための指揮命令要領及び火災に対する戦略等の専門的知識及び消火技術を習得する				
研修内容 火災・爆発のメカニズム、危険物施設火災消火戦術、指揮運用要領、火災消防実習 他				

## 警 防 課 救 助 係

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
<b>レスキュー3研修 (流水救助研修)</b>	警防課特別高度救助隊員と水上消防署 水難特別救助隊から各1名	2名	5月前後	保津川 (京都府亀岡市)
研修目標 流水救助事故対応技術を修得し、その知識、技術を他の隊員に推進する				
研修内容 流水事故対応技術についての座学及び実技				
<b>山岳遭難救助技術研修会</b>	北救助隊員 (山岳救助担当)	1名	10月前後	独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所 (富山県立山市)
研修目標 山岳救助事故対応技術を修得し、その知識、技術を他の隊員に推進する。				
研修内容 山岳地域における事故対応技術を座学及び実技講習				
<b>ロープアクセス レスキュー研修</b>	北救助隊員 (山岳救助担当)	1名	未定 (11日間)	トーアス (加古川市)
研修目標 山岳救助事故対応技術を修得し、その知識及び技術を他の隊員に推進する				
研修内容 ロープアクセス技術の実技及び学科講習				
<b>潜水技術研修</b>	救助隊員 (水難救助担当)	1名	10月前後	国立研究開発法人 海洋研究開発機構
研修目標 水難救助事故対応技術を修得し、その知識、技術を他の隊員に推進する				
研修内容 水難事故対応技術についての座学及び実技				

## 警 防 課 特 殊 災 害 隊

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
<b>陸上自衛隊化学学校に おける委託教育訓練</b>	特殊災害隊員	1名	4月上旬 5日間	陸上自衛隊大宮駐屯 地化学学校 (埼玉県さいたま市)
研修目標 特殊災害隊員に対して、化学テロ災害への対応強化を図る				
研修内容 化学テロに関する基礎知識、防護、対処及び除染要領等				
<b>警察庁科学警察研究所に おける委託教育訓練</b>	特殊災害隊員	1名	11月上旬 (2日間)	警察庁科学警察 研究所 (千葉県柏市)
研修目標 特殊災害の検知能力の向上を図る				
研修内容 実際の化学剤を使用しての検知訓練等				
<b>無人航空機操作における 認定講習</b>	特殊災害隊員	6名	6月上旬 (3日間)	中央消防署 市民総合防災 センター
目標 無人航空機の操縦技術及び知識を習得し、認証を取得する				
内容 無人航空機の運用に関する基礎知識及び基本操作等				

## 救 急 課

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
救急救命士就業前研修	令和5年度救急救命士養成課程修了者 及び有資格採用職員	15名	4月下旬～ 3月頃	中央市民病院、神戸大 学医学部附属病院、兵 庫県災害医療センター
研修目標 救急救命士としての技術・知識を修得する				
研修内容 国家試験合格者が救急救命士として運用を開始するにあたり、必要な医学的知識及び技術の修得				
気管挿管病院実習	挿管・薬剤追加講習修了者 及び救急救命士養成課程修了者	11名	7月～2月頃	神戸市内 実習委託病院
研修目標 30症例成功				
研修内容 「病院（手術室）実習ガイドライン」（厚生労働省医政局指導課）に基づく、手術室での気管挿管				
気管内挿管病院実習 (ビデオ硬性挿管用喉頭鏡)	気管挿管認定兼ビデオ硬性喉頭鏡 追加講習受講済者	9名	9月～10月頃 (予定)	神戸市内 実習委託病院
研修目標 5症例成功				
研修内容 「病院（手術室）実習ガイドライン」（厚生労働省医政局指導課）に基づく、手術室でのビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管				
航 空 機 動 隊				
研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
航空隊員研修会	航空救助隊員	1名	11月	青森県
研修目標 航空隊の技術及び知識の一層の充実を図る				
研修内容 ヘリコプターによる各種消防防災活動訓練について、専門の講師を招いた研修及び意見交換				
冬山山岳救助技術研修	航空救助隊員	4～5名 程度	2月 (2日間)	氷ノ山 (兵庫県養父市)
研修目標 積雪のある山中で少人数での安全な救助活動の実施				
研修内容 最新の山岳救助技術の習得及び孤立した山中での自己完結的活動技術の習得				
ヘリコプター不時着 対応訓練	操縦士、航空救助隊員及び整備士	2名	未定	日本サバイバルト レーニングセンター (福岡県北九州市)
研修目標 不時着時の対応要領の習得				
研修内容 ヘリコプターが水面に不時着を想定し、水没したヘリコプターからの脱出訓練				

## 航空機動隊

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
レスキュー3研修 (流水救助研修)	航空救助隊員	1名	未定	保津川 (京都府亀岡市)
研修目標 水難救助の知識及び技術の向上				
研修内容 流水救助の知識習得及び流水環境下での実技				
クレーン運転特別教育	航空救助隊員	1名	未定	明石教習 センター
研修目標 機動隊にある天井クレーン(0.5t)を安全に使用するため				
研修内容 学科(クレーン構造、力学、電気、関係法規等)、実技講習、学科試験、実技検定等				
模擬飛行装置による 各種飛行訓練	操縦士	6名	未定	東京航空計 器株式会社
研修目標 実践では困難な緊急状態での対処方法の体験				
研修内容 緊急時の操作技術の習熟(雲中飛行など)				
模擬飛行装置による 計器飛行訓練	計器飛行証明所持者	2名	未定	東京航空計 器株式会社
研修目標 計器飛行証明者が計器飛行を実施する場合に、法的に定められた計器飛行時間の経験の一部を満たすため				
研修内容 計器飛行に必要な知識及び技術の習得。緊急時の操作技術の習熟(雲中飛行など)				
BK117型 計器飛行訓練	操縦士	未定	未定	未定
研修目標 計器飛行証明取得のため				
研修内容 計器飛行証明を取得するための飛行訓練				
模擬飛行装置による 緊急操作訓練	操縦士、航空救助隊員及び整備士	7名	未定	エアバスロコプターズ・ ジャパン株式会社
研修目標 実機では困難な緊急状態での対処方法をモーション付きのシミュレーターにて訓練し、不測の事態が発生しても安全に対応できる能力を養成する				
研修内容 緊急時の操作技術の習熟				

## 航空機動隊

研修名	対象者	人員 (予定)	実施時期 (予定)	場所
航空整備実務講習会	整備士	1名	未定	羽田空港整備場 航空技術協会
<b>研修目標</b> 航空機の整備知識、技術の習得				
<b>研修内容</b> 航空機の整備知識、技術等				
BK117C-2ヘリコプター ブラッシュアップ講習会	整備士	1名	未定	セントラルヘリコ プターサービス㈱
<b>研修目標</b> BK117C-2型ヘリコプター整備のエンジンについての整備技術を向上させる				
<b>研修内容</b> エンジンの構造、最新の技術通報、不具合事例の紹介等				
航空整備管理講習会	整備士	1名	未定	羽田空港整備場 航空技術協会
<b>研修目標</b> 整備管理業務の業務内容及び必要な知識を学ぶため航空機の整備知識、技術の習得				
<b>研修内容</b> 各航空会社が個別に実施してきた整備管理従事者の養成に関する手法について整備管理従事者の業務内容及び従事するうえで必要となる知識等を体系的に整理したもの				

## Ⅱ 消防学校研修計画

校

訓

責 協 誠

任 同 實

## 1 消防学校研修計画の基本方針

消防学校研修計画は、消防学校の教育訓練の基準、神戸市消防職員研修規程、神戸市消防団条例並びに神戸市消防団規程に基づき策定する。

## 2 消防学校研修の主眼

- (1) 人材育成について、研修の場において経験豊富な講師・指導員から若年職員への知識・技術の伝承を高める。
- (2) 研修効果をより高めるため、学校研修と併せて所属研修（受講前、受講後）の充実を図る。
- (3) 消防団員教育について、地域防災の担い手として消防団員に求められる期待は大きくなってきており、実情に応じた学校研修を実施する。

## 3 消防学校研修概要

### (キ) 初任研修 初任科教育課程

第 101 期初任科教育課程 119 日（4 月 1 日～9 月 30 日）

令和 6 年度新規採用職員を対象に、消防の任務を正しく認識させ、職務遂行に必要な知識、技術、体力、精神力の習得と優しさを持つ事を目的として実施する。

### (ク) 現任研修

#### ア 管理職研修

(ア) 消防司令長昇任課程 2 日（5 月 8 日、9 日）

令和 6 年度消防司令長昇任者を対象に、消防司令長として組織を円滑に管理運営するために必要とされる、業務管理・人事管理・危機管理についての現況把握し災害現場における統括指揮を理解する。

(イ) 消防司令昇任課程 7 日

（令和 7 年 3 月 10 日～3 月 14 日及び所属で 1 当務若しくは 2 日間）

令和 6 年度消防司令昇任選考最終候補者を対象に、消防司令としての任務及び責任を認識するとともに必要な知識、職責に応じた問題解決能力を習得し部下の育成能力の向上、災害現場における部隊運用指揮行うための知識を習得する。

イ 消防司令補研修 消防司令補昇任課程 10 日（令和 7 年 1 月 27 日～2 月 7 日）

令和 6 年度消防司令補昇任選考最終合格者を対象に、消防司令補としての責務を自覚させ、判断能力、問題解決能力の向上を図ることを目的として実施する。

ウ 消防士長研修 消防士長昇任課程 5日（7月1日～7月5日）

令和2年度採用高卒者（第97期初任科）、令和4年採用短大高専卒及び大卒者（第99期初任科）を対象に、消防士長としての任務、責任を認識し、業務の円滑かつ効率的遂行を図るとともに、消防士長として必要な知識、技術を習得する。

エ 専科研修

（ア）火災調査科 火災調査課程《基礎コース》 10日

（7月22日～8月2日）

火災調査に必要な専門的、科学的知識及び技術を修得するとともに、火災調査書類作成能力の向上と予防行政への反映を図ることを目的とする

（イ）予防査察科 査察実務課程 5日（10月7日～10月11日）

- ① 令和4・5年度消防士長昇任課程修了者で未受講の者。
- ② 令和6年度士長昇任課程修了者。
- ③ 消防司令補以下の階級で未受講の者。

以上の者を対象に

- ・査察行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行する知識を習得する。
- ・防火管理、建築、危険物規制及び消防用設備等の実務に関する知識を習得する。
- ・立入検査要領及び災害現場で想定される違反処理に関する知識を習得する。

（ウ）機関科 はしご自動車課程 5日（10月21日～10月25日）

消防用はしご自動車（以下「はしご車」という。）の構造及び性能を熟知させ、操作技術及び活動技術を習得することにより、はしご車の有効活用及び安全管理を推進する。

（エ）救助科 救助課程 14日（11月5日～11月22日）

救助隊員資格を取得するために必要な基本知識及び基本技術を習得するとともに、救助隊員として必要な強靱な体力と不屈の精神を養い、災害現場において安全、確実、迅速に活動できる能力を習得する。

（オ）救急科 救急課程 37日 ※12月1日は各種書類申請日、入校式は2日

（12月1日～令和7年1月24日及び同乗実習2月12日～14日）

第101期初任科教育課程修了者を対象に、「一人でも多くの命を助けるために」



応急処置等の基本知識及び基本技術を習得させるとともに、救急隊員としてあらゆる現場での対応能力、接遇能力を養い、「救急隊員資格取得」及び「人を助ける自信」を持つことを目的として実施する。

(カ) 警防科 警防指揮課程（小隊指揮コース） 5日

（令和7年2月17日～2月21日）

小隊指揮に必要な知識及び火災防ぎょについての各種基本戦術を習得するとともに災害現場での的確な状況把握及び活動方針について助言・具申ができる能力の習得を目的として実施する。

(1) 消防団教育

ア 基礎教育 1日×2回

（①7月7日：東部・北消防団 ②7月21日：西部・西消防団）

消防団の新規任命団員を対象に、地域防災の担い手としての任務を自覚し消防組織の概要及び消防対策必要な地域特性を理解させ、災害現場では自らの安全を確保し下命に基づく現場活動を遂行できることを習得することを目的として実施する。

イ 幹部教育 指揮幹部科

（ア）現場指揮課程 1日×2回

（①10月6日：東部消防団・北消防団 ②10月20日：西部・西消防団）

消防団の部長もしくは部長と同等の実務経験を有する班長を対象に、災害時における現場指揮としての職責を自覚し、現場指揮及び安全管理の知識を有し、大規模災害時において、現場指揮者として、各種災害発生時の避難誘導及び情報収集・伝達に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識及び技術を有すること並びに自主防災組織等に対して防災指導力の向上を目的として実施する。

（イ）分団指揮課程 1日（12月1日）

消防団の分団長若しくは副分団長を対象に、分団の指揮者としての職責を自覚し、消防団の管理運営及び活性化に資する広い知識、各種災害発生時における分団の管理運営及び効果的な現場活動の在り方を深く理解し、習得することを目的として実施する。

#### 4 消防学校研修一覧

教育区分	名 称	実施期間	日数	人数 (予定)	対象者概要		
初任研修	第101期初任科 教育課程	4.1～9.30	119	未	令和6年度 新規採用職員		
現任研修	管理職研修	消防司令長 昇任課程	5.8～5.9	2	未	令和6年度 消防司令長昇任者	
		消防司令 昇任課程	R7.3.10～3.14 及び所属で1当務 若しくは2日間	7	未	令和6年度消防司令 昇任選考最終候補者	
	消防司令補 研修	消防司令補 昇任課程	R7.1.27～2.7	10	未	令和6年度消防司令補 昇任選考試験最終合格者	
	消防士長研修	消防士長昇任課程	7.1～7.5	5	97期26名 99期26名	①令和2年度採用（第97期）高 卒の職員 ②令和4年度採用（第99期）短 大高専卒及び大卒の職員	
	専科 研修	火 災 調査科	火災調査課程 《基礎コース》	7.22～8.2	10	33	火災原因調査実務経験 10年未満の者
		予 防 査察科	査察実務課程	10.7～10.11	5	未	① 令和4・5年度士長昇任課程 修了者で未受講の者 ② 令和6年度士長昇任課程修了 者 ③ 消防司令補以下の階級で未受 講の者
		機 関 科	はしご自動車課程	10.21～10.25	5	未	はしご車の小隊長、機械担当者 及びそれらに予定されている 者、もしくは所属長が受講する ことが適当と認めた者。 （はしご自動車配置所属）
		救 助 科	救助課程	11.5～11.22	14	33	課程を受講できる体力を有する 職員で所属長が適当と認めた者
		救 急 科	救急課程	12.1～R7.1.24及び (同乗実習) R7.2.12～2.14	37	未	第101期初任科教育課程 修了者
		警 防 科	警防指揮課程 (小隊指揮コース)	R7.2.17～2.21	5	33	消防司令補以下の階級で、小隊 長あるいは小隊長代行の者、若 しくは所属長が適当と認めた者
消防団 教育	基礎教育		① 東部・北消防団：7.7 ② 西部・西消防団：7.21	1日× 2回	100	新規任命団員等	
	幹部教育【現場指揮課程】		① 東部・北消防団：10.6 ② 西部・西消防団：10.20	1日× 2回	100	部長、班長の階級にある団 員で教育未修了者及び昇任 予定者	
	幹部教育【分団指揮課程】		12.1	1日	50	分団長、副分団長の階級に ある団員で教育未修了者及 び昇任予定者	

## 5 令和6年度消防学校研修各科

### (1) 初任研修

第101期初任科教育課程	
目 標	1 市民の生命、身体、財産を守るという強い使命感、責任感をもった消防職員となること。 2 高い倫理観、規律を保持し、職務意欲が旺盛で市民の信頼を得られること。 3 一人ひとりが積極的に考え行動する『自主自立』の精神をもった消防職員になること。 4 基本的な安全管理について理解し、自らの安全を確保し、災害現場では隊長の下命に基づき基本的な活動ができること。 5 プロフェッショナルとしての知識、技術、体力、精神力、優しさを持っていること。
対象者	令和6年度新規採用職員
期 間	4月1日（月曜）～9月30日（月曜）：119日

教科目		内 容	総時間	
基礎教育	倫 理	公務員としての資質等信頼される消防職員としての心構え	826	
	情 操	消防職員として必要な知識と情操の高揚		
	法制通論	基礎法学		法令の基礎知識
		刑 法		消防業務に関連する刑法の基礎知識
		消防法		消防法規の体系、消防作用の法的根拠
	組織制度	地方自治法		地方自治制度のしくみ
		消防組織法		消防の任務及び制度
実務教育	予防 広報	予防広報		消防行政における広報
		防火管理		消防行政における防火管理
	危険物	危険物行政の基礎知識		
	消防用設備	消防用設備の基礎知識		
	査 察	査 察		消防査察の意義、目的、要領、査察実習
		違反処理		違反処理事務の基礎
	建 築	建築基準法令と消防関係法令の関係、建築物に関する基礎的知識		
安全管理	日常業務及び災害現場における、安全管理の基礎知識			

教 科 目		内 容	総時間
実 務 教 育	特殊災害	特殊な災害に対する消防活動の基礎知識	826
	火災防ぎょ	火災の概念、火災防ぎょの意義、火災防ぎょ活動に関する基礎的知識	
	火災調査	火災原因調査に必要な基礎的知識	
	防 災	災害の定義、防災の意義に関する基礎的知識 南海トラフ巨大地震への備え	
	救 急	応急処置に必要な基礎的知識、基本的救急処置技術	
	消防機械器具・ポンプ	消防機械器具・ポンプの基礎知識	
実 科 訓 練	訓練礼式	各個及び部隊行動に必要な規律	
	消防活動訓練	消防ポンプ基本操法、基本戦術並びに消防隊員として必要な行動要領	
	機器取扱訓練	災害現場で活用する機械器具の取扱要領の基礎	
	救助訓練	ロープ取扱技術、救助活動の基礎的知識、技術	
	消防活動応用訓練	総合訓練、林野火災訓練、水防工法、耐熱耐煙訓練、震災活動における応用的な活動要領	
体 育	持久力、筋力、敏捷性、調整力等総合的な体力、気力の錬成		
そ の 他	所属研修	消防署所での査察実務研修、警防実務研修	
	鍛錬健足	屋外での団体行動を通じ身体を鍛錬し、学生間の協調性	
	水難救助訓練	水難救助の基礎的知識と技術	
	無線通信	第二級陸上特殊無線技士免許取得	
	健康管理	心と体の健康を維持するための基礎的知識	
	メンタルヘルス	ストレス等への対応についての基礎的知識	
	効果測定	基礎教育、実務教育、実科訓練の効果確認	
	行事等	入校式・卒業式、消防局長査閲	

(2) 現任研修

ア 管理職研修

(ア) 消防司令長昇任課程

教育訓練名	消防司令長昇任課程
目 標	1 消防司令長として組織を円滑に管理運営するために必要とされる、業務管理・人事管理・危機管理についての現況を把握する。 2 災害現場活動における統括指揮を理解する。
対象者	令和6年度消防司令長昇任者
期 間	5月8日（水曜）、9日（木曜）：2日

教科目	内 容	総時間
講 話	局長講話	14
	神戸市政の動向	
	予防行政の動向	
	警防行政の動向	
	救急行政の動向	
	学校長講話	
	消防司令長（課長級）の役割について	
	新任課長の心得	
消防行政	消防行政の動向	
人事管理	人事業務管理	
現場指揮	現場監察、現場指揮、指揮要諦	
実科訓練	訓練礼式	
行事等	修了式	

(イ) 消防司令昇任課程

教育訓練名	消防司令昇任課程
目 標	1 消防司令としての任務及び責任を認識し、必要な知識を習得する。 2 職責に応じた問題解決能力を習得する。 3 部下の指導育成能力の向上。 4 災害現場における部隊運用指揮を行うための知識を習得する。
対象者	令和6年度消防司令昇任選考最終候補者
期 間	令和7年3月10日（月曜）～3月14日（金曜） 及び所属にて1当務若しくは2日間（所属研修）：計7日

教科目	内 容	総時間
講 話	局長講話、学校長講話、教育担当課長講話	35
人事業務管理	業務管理と職員管理	
総務関係	消防行政の動向 消防財政 交通事故防止と対策 施設管理、情報通信	
予防関係	予防行政 査察業務 危険物と保安三法 火災調査事務	
安全管理	監察隊から見た現場における安全管理	
警防関係	警防総論、中隊指揮要諦、部隊運用図上訓練、大規模災害 救急行政 連携放水戦術 消防団行政の現状	
訓練礼式	通常点検	
行事等	入校式、修了式	
その他	担当係長の実務	
所属研修	指揮隊同乗研修	

イ 消防司令補昇任研修 消防司令補昇任課程

教育訓練名	消防司令補昇任課程
目 標	消防司令補としての責務を自覚させ、判断能力、問題解決能力の向上を図る。
対象者	令和6年度消防司令補昇任選考最終合格者
期 間	令和7年1月27日（月曜）～2月7日（金曜）：10日

教科目	内 容	総時間
講 話	局長講話、消防司令補の責務	70
総務関係	公務員倫理とサービス、公務災害、消防財政、消防基本計画、交通事故防止	
予防関係	予防行政、査察行政、危険物行政、消防活動上必要な消防用設備 防災福祉コミュニティ	
警防関係	救助業務と安全管理、救急業務、指揮活動要諦、無線運用、震災継承、南海トラフ巨大地震への備え	
基礎法学	行政法、私法の基本的仕組みと国家賠償法	
その他	リーダーシップと職場の問題解決、職場のメンタルヘルス	
実科訓練	安全管理、多数傷病者対応訓練、警防活動訓練（小隊訓練、連携訓練、想定訓練）	
行事その他	入校式・オリエンテーション、修了式、訓練礼式	

ウ 消防士長研修 消防士長昇任課程

教育訓練名	消防士長昇任課程
目 標	消防士長としての任務、責任を認識し、業務の円滑かつ効率的遂行を図るとともに、消防士長として必要な知識、技術を習得する。
対象者	令和2年度採用高卒者（第97期初任科） 令和4年度採用短大高専卒及び大卒者（第99期初任科）
期 間	7月1日（月曜）～7月5日（金曜）：5日

教科目	内 容	総時間
講話	局長講話、公務員倫理、OJT・後輩指導	35
基礎法学	私法の基本的仕組みと国家賠償	
震災継承	阪神・淡路大震災を経験して	
職員	ハラスメント対策、公務災害、メンタルヘルス	
危機管理	地震対策、震災対応（広報支援活動）	
企 画	消防基本計画	
予防査察	予防行政、防災福祉コミュニティ、火災調査書類実務 査察業務、消防用設備等、危険物	
施設	交通事故防止	
消防団支援	消防団事務	
警防	警防活動、安全管理、訓練準備、消防活動訓練	
救急	救急業務	
無線運用	無線運用の基礎	
訓練礼式	訓練礼式	
行事	入校式、修了式、オリエンテーション	



## エ 専科研修

### (ア) 警防科 警防指揮課程

教育訓練名	警 防 指 揮 課 程
目 標	小隊指揮に必要な知識及び火災防ぎよについての各種基本戦術を習得するとともに、災害現場での的確な状況把握及び活動方針について助言・具申ができる能力を習得する。
対象者	小隊長あるいは小隊長代行の者、若しくは所属長が認める者
期 間	令和7年2月17日（月曜）～ 2月21日（金曜）

教科目	内 容	総時間
講 話	小隊長としての責務	35
安全管理	災害現場の安全管理	
	交通事故防止	
警防関係	小隊指揮総論	
	無線運用	
	部隊運用図上訓練	
	部隊運用実科訓練	
訓練礼式	通常点検	
行事等	入校式、修了式	

(イ) 予防査察科 査察実務課程

教育訓練名	査察実務課程
目 標	1 査察行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行する知識を習得する。 2 防火管理、建築、危険物規制及び消防用設備等の実務に関する知識を習得する。 3 立入検査要領及び災害現場で想定される違反処理に関する知識を習得する。
対象者	① 令和5年度士長昇任課程修了者で未受講の者 ② 令和6年度士長昇任課程修了者 ③ 消防司令補、消防士長の階級で未受講の者
期 間	10月7日(月)～10月11日(金):5日

教科目	内 容	総時間
講 話	予防査察行政の現状と課題	35
査 察	査察の意義と目的 消防用設備の点検制度 防火管理制度と防災管理制度 図面活用要領	
建 築	消防用設備の設置基準 消防用設備取扱い	
危険物	危険物規制	
違反是正	違反是正の意義と目的	
実務研修	査察実習・実地研修 所属実務研修 査察実地研修発表会	
効果測定	事前学習効果測定	
訓練礼式	通常点検	
行事等	入校式、修了式	

(ウ) 火災調査科 火災調査課程

教育訓練名	火災調査課程（基礎コース）
目 標	火災調査に必要な専門的、科学的知識及び技術を習得するとともに、火災調査書類作成能力の向上と予防行政への反映を図る。
対象者	火災原因調査実務経験 10 年未満で未受講の者
期 間	令和 6 年 7 月 22 日（月曜）～ 8 月 2 日（金曜）： 10 日

教科目	内 容	総時間
関係法規	火災調査関係法令について	63
火災調査	火災原因調査概論 情報の公開・保護 警察機関との協力関係 調査計画 写真撮影要領 消防設備見分要領	
原因調査	現場観察要領 微小火源火災実験 電気火災実験 燃焼機器火災実験 車両火災実験 製品事故報告	
損害調査	損害調査要領、損害査定	
鑑 識	電気製品構造、燃焼機器構造、車両構造	
調査書類	調査書類作成要領	
調査実習	模擬家屋燃焼見分実習、調査書類作成発表	
訓練礼式	通常点検	
行事等	入校式、修了式	

(エ) 救急科 救急課程

教育訓練名	救 急 課 程
目 標	消防法施行令第 44 条第 5 項に基づく救急隊員としての資格を取得するとともに、神戸市の救急業務について必要な知識を習得する。
対象者	第 101 期初任科教育課程修了者
期 間	12 月 1 日(日曜日)～令和 7 年 1 月 24 日(金曜日)及び令和 7 年 2 月 12 日(水曜日)～2 月 14 日 (金曜日) : 37 日 (12 月 1 日を除く)

教科目		内 容	総時間
救急業務及び救急医学の基礎	救急業務の総論	救急業務の沿革、意義、救急隊員の責務等、医学概論	238
	解剖生理	総論、身体各部の名称及び皮膚系、骨格系、筋系、呼吸系、循環系、消化器系、泌尿器、神経系感覚系	
	社会保障 社会福祉	社会保障の概念、社会保障及び社会福祉の関係法規、社会福祉体制、医療保険	
	救急実務及び関係法規	死亡事故の取扱い 救急活動の通信システム及びその運用	
応急処置の総論	観 察	総論、バイタルサインの把握、全身・局所所見の把握、傷害の受傷機転、既往症等の聴取	
	検 査	一般検査、生理学的検査、検査機器の原理と構造、保守管理	
	応急処置総論	心肺蘇生、止血、被覆、固定、保温、体位管理、搬送	
	応急処置各論	気道確保、異物除去、人工呼吸、 胸骨圧迫心マッサージ (人工呼吸との併用)	
	救急医療 災害医療	救急医療体制、プレホスピタル・ケアを担当する医療関係者、多数傷病者発生事故の対応、トリアージ	
病態別応急処置	心肺停止	原因・病態生理、病態の把握、応急処置、病態の評価	
	ショック		
	循環不全		
	意識障害		
	出 血		
	一般外傷 頭部・頸椎 (頸髄) 損傷		

教 科 目		内 容	総時間
病態別応急処置	熱傷・電撃傷	原因・病態生理、病態の把握、応急処置、病態の評価	238
	中 毒		
	溺 水		
	異 物		
	急性腹症	急性腹症の病態と対応	
	呼吸器障害	呼吸器不全とその対応	
特殊病態別応急処置	小児・新生児	小児及び新生児の基礎事項、症状からみた小児救急疾患の重症度判定、小児の事故、心肺蘇生法	
	高齢者	高齢者の基礎的事項、ショック、体温、意識障害、頭痛、胸痛、呼吸困難、その他の疾患	
	産婦人科 周産期	産婦人科及び周産期の基礎的事項、救急と関連する産婦人科疾患、分娩の介助、分娩直後の新生児の管理	
	精神障害	精神科救急の基礎的事項、精神科救急への対応、病態の評価、精神科の治療等	
	その他の創傷 の処置等	切断四肢の取扱い、多発外傷、鼻出血、眼損傷、口腔損傷、日（熱）射病、寒冷損傷、爆傷、酸欠、潜函病、急性放射線障害、動物による咬創、刺創	
救急用器具資材 の取扱	救急用器具・資材の操作法、保管・管理及び消毒		
実地研修	医療機関における実地研修		
効果測定	実技試験及び学科試験		
行事等	入校式、修了式		
所属研修	救急車同乗実習	21	

(オ) 救助課 救助課程

教育訓練名	救助課程
目 標	救助隊員資格を取得するために必要な基本知識及び基本技術を習得するとともに、救助隊員として必要な強靱な体力と不屈の精神を養い、災害現場において安全、確実、迅速に活動できる能力を習得する。
対象者	救助隊員資格取得を希望し、課程を受講できる体力を有し、所属長が適当と認めた者
期 間	11月5日（月）～22日（金）：14日

教科目	内 容	総時間
講 話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救助業務</li> <li>・広域消防応援</li> </ul>	150
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の基本</li> <li>・安全管理</li> <li>・救助訓練実施における心構え</li> <li>・各種災害活動時の安全管理</li> </ul>	
救助訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種救助活動における基本行動要領</li> <li>・救助操法</li> </ul>	
救 急	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急処置と搬送</li> <li>・事故車両からの救出法</li> </ul>	
査 察	警防活動時の消防用設備等の活用	
災害救助対策	各種災害対応	
救助器具取扱い	各種救助器具取扱い	
総合訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定訓練</li> <li>・復習訓練</li> <li>・持久走訓練</li> </ul>	
体 育	救助体育	
訓練礼式	通常点検	
効果測定	効果測定	
行事等	・入校式・修了式	
所属研修	・ロープ結索 ・救助器具取扱い ・救助操法等	

(カ) 機関科 はしご自動車課程

教育訓練名	はしご自動車課程
目 標	消防用はしご自動車(以下「はしご車という)の構造及び性能を熟知させ、操作技術及び活動技術を習得し、はしご車の有効活用及び安全管理を推進する。
対象者	はしご車の小隊長、機械担当者及びそれらに予定されている者、もしくは所属長が受講することが適当と認めた者。 なお、対象署にあつては、はしご車が配置されている消防署に限定する。 (東灘・中央・北・北神・長田・垂水・西)
期 間	令和6年10月21日(月曜)～10月25日(金曜) : 5日間

教科目	内 容	総時間
講 話	はしご自動車担当者としての心構え 運用と任務 現場活動	35
安全管理	安全管理のポイント 交通事故防止 はしご自動車事事故事例	
基礎理論	はしご自動車の概要と理論	
基本訓練	基本操作訓練 基本操作法 トラブル時の操作法 点検と整備	
応用訓練	応用操作訓練	
行事・その他	入校式・オリエンテーション・効果テスト・修了式	

(キ) 現任課程

教育訓練名	現任課程
目 標	今年度は実施しません
対象者	
期 間	

教科目	内 容	総時間
講 話		
消防行政	今年度は実施しません	
各種訓練		
その他		

(ク) 特別研修

教育訓練名	公 開 講 座 等
内 容	公開講座等を開講する。 (部外講師が行う安全衛生管理講座等)
対象者	希望者
期 間	随 時



(3) 消防団員研修

ア 基礎教育

教育訓練名	基 礎 教 育	
目 標	1 地域防災の担い手としての任務を自覚し消防組織の概要及び消防対策に必要な地域特性を理解させる。 2 災害現場では、自らの安全を確保しながら、下命に基づく現場活動を遂行できること。	
対象者	各消防団の新規任命団員	
期 間	第1回	7月7日（日曜日）東部・北消防団員
	第2回	7月21日（日曜日）西部・西消防団員

教科目	内 容	総時間
倫 理	消防団員の心得	7
組織制度	消防団員の服務	
訓練礼式	規律の習得・各個訓練・集合要領	
無線運用	災害現場における無線運用	
現場活動	意図の伝達要領・水防工法・震災対応	
ポンプ操法	筒先取扱い・ホース延長・ポンプ取扱い	
行事等	入校式・修了式	

	教科目	内 容
事前所属研修	訓練礼式	各個訓練・集合・解散要領
	小型動力ポンプ取扱い	小型動力ポンプの基本操作要領
	消防ポンプ操法（現場活動）	意図の伝達・ホース延長・筒先の結合・消防ポンプ取扱い各要領等

## イ 幹部教育 指揮幹部科

### (ア) 現場指揮課程

教育訓練名	現場指揮課程	
目 標	1 災害時における現場指揮者としての職責を自覚し、現場指揮及び安全管理の知識及び技術を有していること。 2 大規模災害時において、現場指揮者として、各種災害発生時の避難誘導及び情報収集・伝達に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識及び技術を有すること並びに自主防災組織等に対して防災指導を行えること。	
対象者	各消防団の部長もしくは、部長と同等の実務経験を有する班長の階級にある団員、または教育未修了者	
期 間	第1回	10月6日（日曜日）東部・北消防団員
	第2回	10月20日（日曜日）西部・西消防団員

教科目	内 容	総時間
講 話	消防団幹部の心得	7
組織制度	消防団員の服務と人事管理	
安全管理	建物火災の性状	
無線運用	現場における無線通信機活用要領	
現場活動	小型動力ポンプ取扱い、水防工法、無線通信機運用	
行事等	入校式、修了式	

	教科目	内 容
事前所属研修	訓練礼式	各個訓練、集合・解散要領
	小型動力ポンプ取扱い	小型動力ポンプの基本操作、点検要領
	消防ポンプ操法（現場活動）	消火栓取扱い要領、消防警戒区域線の設定、意図の伝達要領、ホース・筒先の結合要領等
	地域防災指導	防災福祉コミュニティーにおける訓練指導のあり方

(イ) 分団指揮課程幹部教育 指揮幹部科

教育訓練名	分 団 指 揮 課 程
目 標	1 分団の指揮者としての職責を自覚し、消防団の管理運営及び活性化に資する広い知識を有していること。 2 各種災害発生時における分団の管理運営及び効果的な現場活動の在り方を深く理解していること。
対象者	各消防団の分団長もしくは、副分団長の階級にある団員及び昇任予定団員
期 間	12月1日（日曜）

教科目	内 容	総時間
講 話	消防団幹部の心得	7
組織制度	消防団員の服務と人事管理	
防 災	防災対策としての土砂災害基礎	
事例研究	災害活動要領、火災事象等	
災害対応	現場における無線活用訓練、震災対応	
行事等	入校式、修了式	

教科目		内 容
事前所属研修	訓練礼式	各個訓練、集合・解散要領
	小型動力ポンプ 取扱い	小型動力ポンプの基本操作、点検要領
	消防ポンプ操法 (現場活動)	意図の伝達要領、ホース・筒先の結合要領等
	現場指揮	消防警戒区域線の設定、指揮所運営
	地域防災	防災福祉コミュニティの現状と団活動の在り方、震災経験の伝承、効果的な新規入団促進について

令和6年4月			令和6年5月			令和6年6月			令和6年7月			令和6年8月			令和6年9月			令和6年10月			令和6年11月			令和6年12月			令和7年1月			令和7年2月			令和7年3月																						
1日	月	1	入校式	1日	水	1		1日	土	2		1日	月	2		1日	木	3	火災調査課程 （基礎コース）	1日	日	1		1日	火	1		1日	金	2		1日	日	2	分団指揮課程訓練	1日	水	3	年始休業	1日	土	1		1日	土	2									
2日	火	2	市長講話	2日	木	2		2日	日	3	消防誓いの日	2日	火	3		2日	金	1		2日	月	2		2日	水	2		2日	土	3		2日	月	3	救急課程	2日	木	1		2日	日	2		2日	日	3									
3日	水	3		3日	金	3	憲法記念日	3日	月	1		3日	水	1		3日	土	2		3日	火	3	救助訓練	3日	木	3		3日	日	1	文化の日	3日	火	1		3日	金	2		3日	月	3	消防司令補昇任課程	3日	月	1		3日	月	1					
4日	木	1		4日	土	1	みどりの日	4日	火	2		4日	木	2	無観練習	4日	日	3		4日	水	1		4日	金	1		4日	月	2	振替休日	4日	水	2		4日	土	3		4日	火	1		4日	火	2		4日	火	2					
5日	金	2		5日	日	2	こどもの日	5日	水	3		5日	金	3		5日	月	1		5日	木	2		5日	土	2		5日	火	3	救助課程	5日	木	3		5日	日	1		5日	水	2		5日	水	2		5日	水	3					
6日	土	3		6日	月	3	振休	6日	木	1	実火災体験型訓練	6日	土	1		6日	火	2	水難救助訓練	6日	金	3		6日	日	3	現場指揮課程訓練 （東部・北消防団）	6日	水	1		6日	金	1		6日	月	2	救急課程	6日	木	3		6日	木	3		6日	木	1					
7日	日	1		7日	火	1		7日	金	2		7日	日	2	団基礎訓練 （東部・北消防団）	7日	水	3		7日	土	1		7日	月	1		7日	木	2		7日	土	2		7日	火	3		7日	火	3		7日	金	1		7日	金	2					
8日	月	2		8日	水	2		8日	土	3		8日	月	3		8日	木	1		8日	日	2		8日	火	2	査察実務課程	8日	金	3		8日	日	3		8日	水	1		8日	土	2		8日	土	2		8日	土	3					
9日	火	3		9日	木	3	市長兼市議兼市 長官事務官 （市長事務係）	9日	日	1		9日	火	1		9日	金	2		9日	月	3		9日	水	3		9日	土	1		9日	月	1		9日	木	2	救急課程	9日	木	2		9日	日	3		9日	日	1					
10日	水	1		10日	金	1		10日	月	2		10日	水	2	所属研修	10日	土	3		10日	火	1		10日	木	1		10日	日	2		10日	火	2		10日	金	3		10日	月	1		10日	月	2		10日	月	2					
11日	木	2		11日	土	2		11日	火	3		11日	木	3		11日	日	1	山の日	11日	水	2		11日	金	2		11日	月	3		11日	木	3	救助課程	11日	水	3		11日	土	1		11日	火	2	建国記念日	11日	火	3		11日	火	3	消防昇任課程
12日	金	3		12日	日	3	世界パラリンピック （ユニバ）	12日	水	1		12日	金	1		12日	月	2	振休	12日	木	3	総合訓練	12日	土	3		12日	火	1		12日	木	1		12日	日	2		12日	水	3		12日	水	3	（所属同乗研修） 救急課程 37日	12日	水	1		12日	水	1	
13日	土	1		13日	月	1		13日	木	2		13日	土	2		13日	火	3		13日	金	1		13日	日	1		13日	水	2		13日	金	2		13日	月	3	成人の日	13日	木	1		13日	木	2		13日	木	2					
14日	日	2		14日	火	2		14日	金	3		14日	日	3		14日	水	1		14日	土	2		14日	月	2	スポーツの日	14日	木	3		14日	土	3		14日	火	1	救急課程	14日	金	2		14日	金	2		14日	金	3					
15日	月	3		15日	水	3		15日	土	1		15日	月	1	海の日	15日	木	2		15日	日	3		15日	火	3		15日	金	1		15日	日	1		15日	水	2		15日	土	3		15日	土	1		15日	土	1					
16日	火	1		16日	木	1		16日	日	2		16日	火	2		16日	金	3		16日	月	1	敬老の日	16日	水	1		16日	土	2		16日	日	2		16日	木	3	救急課程	16日	木	3		16日	日	1		16日	日	2					
17日	水	2		17日	金	2	市県合同訓練	17日	月	3		17日	水	3	耐熱耐煙訓練	17日	土	1		17日	火	2	総合訓練	17日	木	2		17日	日	3		17日	水	3		17日	金	1		17日	火	3		17日	月	2		17日	月	3					
18日	木	3		18日	土	3		18日	火	1		18日	木	1		18日	日	2		18日	水	3		18日	金	3		18日	月	1		18日	水	1	救助課程	18日	土	2		18日	火	3	（小隊指揮コース） 警防指揮課程	18日	火	1		18日	火	1					
19日	金	1		19日	日	1		19日	水	2		19日	金	2		19日	月	3		19日	木	1		19日	土	1		19日	日	2		19日	火	2		19日	木	2		19日	日	3		19日	水	1		19日	水	2					
20日	土	2		20日	月	2		20日	木	3	震災活動訓練	20日	土	3	近畿地区指導会 （堺市）＜予定＞	20日	火	1	局長査閲 （予定）	20日	金	2		20日	日	2	現場指揮課程訓練 （西部・西消防団）	20日	水	3		20日	金	3		20日	月	1		20日	月	1	救急課程	20日	木	2		20日	木	3	春分の日				
21日	日	3	神戸まつり	21日	火	3		21日	金	1		21日	日	1	基礎訓練 （西部・西消防団）	21日	水	2		21日	土	3		21日	月	3	はしご自動車課程	21日	木	1		21日	土	1		21日	火	2		21日	金	3		21日	金	3		21日	金	1					
22日	月	1		22日	水	1		22日	土	2		22日	月	2		22日	木	3	林野火災防ぎょ訓練	22日	日	1	秋分の日	22日	火	1		22日	金	2		22日	日	2		22日	水	3		22日	土	1		22日	土	2									
23日	火	2		23日	木	2	水防訓練	23日	日	3		23日	火	3		23日	金	1		23日	月	2	振休	23日	水	2		23日	土	3	勤労感謝の日	23日	月	3		23日	木	1	救急課程	23日	木	1		23日	日	2	天皇誕生日	23日	日	3					
24日	水	3		24日	金	3		24日	月	1		24日	水	1		24日	土	2		24日	火	3		24日	木	3		24日	日	1		24日	火	1		24日	金	2		24日	月	3	振休	24日	月	1									
25日	木	1	鍛錬健足	25日	土	1		25日	火	2		25日	木	2		25日	日	3		25日	水	1	卒業式 （予定）	25日	金	1		25日	月	2		25日	木	2		25日	土	3		25日	火	2		25日	火	2									
26日	金	2		26日	日	2		26日	水	3		26日	金	3	司令課見学	26日	月	1		26日	木	2		26日	土	2		26日	日	3		26日	火	3		26日	木	3		26日	日	1		26日	水	2									
27日	土	3		27日	月	3		27日	木	1	査察・街歩き	27日	土	1		27日	火	2		27日	金	3		27日	日	3		27日	水	1		27日	金	1		27日	月	2	消防司令補昇任課程	27日	木	3		27日	木	1									
28日	日	1		28日	火	1		28日	金	2		28日	日	2		28日	水	3		28日	土	1		28日	月	1		28日	火	2		28日	木	2		28日	土	2		28日	火	3		28日	金	1		28日	金	2					
29日	月	2	昭和の日	29日	水	2		29日	土	3		29日	月	3		29日	木	1	火災調査課程 （基礎コース）	29日	日	2		29日	火	2		29日	金	3		29日	月	3		29日	木	3		29日	水	1		29日	水	1		29日	土	3					
30日	火	3		30日	木	3		30日	日	1		30日	火	1		30日	金	2		30日	月	3		30日	水	3		30日	土	1		30日	月	1		30日	火	3	年末休業	30日	木	2		30日	日	1		30日	日	1					
				31日	金	1						31日	水	2		31日	土	3		31日	月	1		31日	火	1		31日	木	1		31日	日	2		31日	金	3		31日	金	3		31日	月	2									

令和6年度 神戸市消防職・団員研修計画

担 当：市民防災総合センター  
神戸市消防学校（教育係）